



(旧)ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト



2017.2 ▶ 2023.9.  
NPO法人設立 Anniversary Report

### 社会の現状とビジョン

#### 社会の現状

小、中学生の不登校児童は  
29万人以上で増加の一途



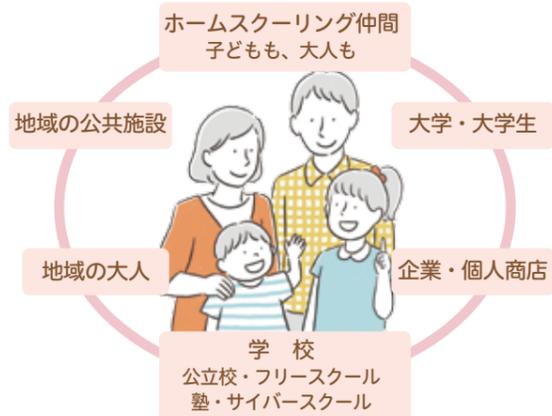
『学校に行かなくても大丈夫』と言われるようになったが、我が子の不登校にどうしていいかわからず悩む親は減っておらず、いまだに命に関わる問題

- 「なんで学校に行けないのかわからない」
- 「親に迷惑かけたくない」
- 「自分はダメだ」
- 「学校には行きたくないけど、友達ほしい」

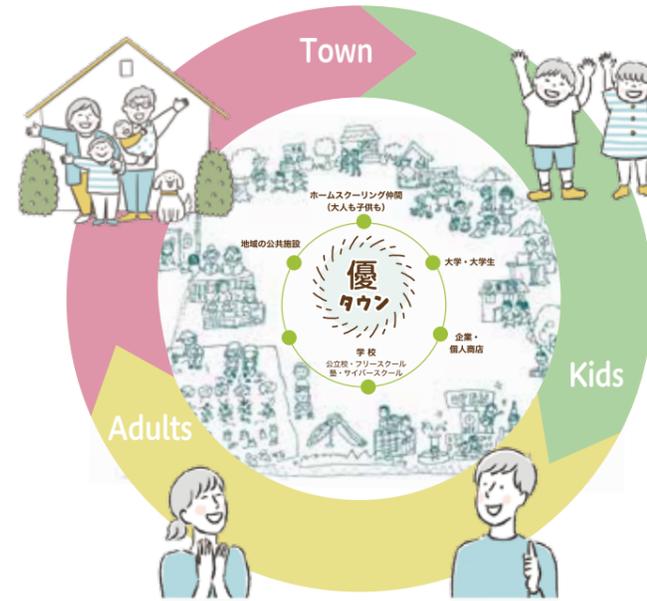


#### 社会ビジョン

地域みんなで子どもを育て合い  
どんな子どもにも優しい社会



### 私たちが実現したい世界 “優タウン”



#### Vision

地域みんなで子どもを育て合い、  
どんな子どもにも優しい社会

#### Mission

不登校やホームスクーリングの  
子ども達が活動しやすい環境を整える

#### Slogan

子どもが変わると、大人が変わる  
大人が変わると、街が変わる

#### これまでの歩み



2017

PJ 立ち上げ  
新しい価値観を提案

「普通と違っていいんじゃない」  
セミナーの開催

▲ 300名の地域の方が参加

2018

当事者の  
親の集まりを開始

「朝 Cafe」の開催

▲ 朝 Cafe 参加者のべ 1,000名  
(2023.4)

2019

子ども参加の  
企画を開始

「駄菓子マルシェ」  
「ホームスクール畑」の開催

2020

子どもの「やりたい」  
実現することに注力

「こども朝 Cafe」  
「公園遊び」  
「磯遊び」の開催



2021

子ども提案の企画開始  
活動が広がり TV や  
新聞への掲載へ

「朝 Cafe こどもアート」  
「ご近所探検プログラム」  
の開催

▲ 当事者コミュニティ  
LINE グループ 100人突破

2022

企業・地域との  
取り組みを開始

企業とのコラボイベント  
「朝 Cafe@ログハウ BESS」  
「JAL 格納庫見学」



# Message

NPO 法人優タウン  
代表理事：小沼陽子



## 代表よりメッセージ

私は我が子の不登校をきっかけに、20年勤めた会社を辞め、  
考え方・生き方を転換。

2017年に“ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト”  
を立ち上げ活動してきました。

多くの方に活動に参画してもらうには、より公益性の高い法人になる必要性があり、  
2023年6月に”NPO 法人優タウン“を発足致しました。

『不登校になるとなんて生きづらいのだろう』

『レールはずれた親子がもっと生きやすい社会にしたい』

その想いだけで立上げましたが「想いはあるけどやり方が分からない」という状態であり、  
そんな私をいつもそばで支えてくれた仲間や応援してくれた方々に  
感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは『街のどこでも安心して活動し学べる“優タウン”を藤沢市につくる』  
それを目指して活動してきました。

その想いは立上げ当初から今も全くかわっていません。

『子ども達には好奇心のままに思いっきり日々を過ごしてほしい』

『子ども達が安心して自分で選び自分で決める』

そんな当たり前のことのできる環境を整えるのがなんて難しいのだろう、  
と日々実感しています。

私自身がもっと成長し組織を成長させながら、これからも仲間とともに  
ビジョン実現に向け楽しく前に進んでいきます。

皆さま、これからも応援のほど、よろしく願いいたします。

小沼陽子

### NPO 法人優タウン / 代表理事：小沼陽子 プロフィール

茅ヶ崎市生まれ。藤沢市在住。中央大学 文学部卒業。  
1997年オリックスグループに入社、環境事業立上げに参画。翌1998年事業分社化に伴い、  
オリックス環境㈱へ出向移籍、創業メンバーとして主に渉外を担当。  
2004年長男出産、2007年長女出産。  
長男が不登校となり、不登校児の母親として辛い思いを経験し社会の生きづらさを感じる。  
2016年オリックス環境㈱を退社、大前研一氏創立「一新塾」に入塾。  
2023年6月NPO 法人優タウン設立。



## セミナー「普通と違っていいんじゃない？」

### 【事業の背景と目的】

不登校やホームスクーラーの親子は、人目を気にして、外に出られず家にこもりがちになります。  
地域や世間の方々の理解を得るために、プロジェクトを応援してくださる著名な方を講師として  
お招きし、「普通と違っていいんじゃない？」セミナーを開催しました。  
地域の方々や社会へ向けて、不登校の実情やこれからの教育について伝え、  
不登校やホームスクーラーの親子が生きやすい社会へ向けて周知啓蒙活動をしています。



### 【活動実績と成果】

「普通と違っていいんじゃない？」セミナーはこれまで  
4回開催し、多くの方にご参加いただきました。  
当事者の方からは前向きな気持ちになった、という感  
想を多くいただき、地域のサポーターも増えました。



2017年10月 おばあちゃんアプリ開発者若宮正子さん講演  
・参加者の声（参加者70名）  
社会全体から将来の可能性を秘めた子供たちを地域から  
小さな事でも取り組んでいく大切な事を教えて頂きま  
した。家族で出来る事からサポートしていきたいと思  
いました。ありがとうございました。



2018年5月 N高等学校副校長先生 上木原孝伸さん講演  
参加者の声（参加者50名）  
・とてもワクワクしました！時代は変わっている！！とて  
も嬉しいです！！子供のことを考えて動いている大人  
たちの想いに何度も胸が熱くなりました。



2019年4月 ビリギャル本人 小林さやかさん講演

参加者の声（参加者120名）  
・気持ちが前向きになりました。今日から我が子の存在をほめ、  
話をよく聞き、認めて自己肯定感を高められる母親になろうと  
思いました。  
・とてもお話が胸にささりました。今置かれている状況を変えて  
いきたいです。（長女、中3が不登校）



2019年10月 明蓬館高等学校校長 日野公三先生講演

参加者の声（参加者60名）  
・今後の選択肢が一つではないことを知ることができ、  
気持ちが少し楽になりました。  
・「米国では不登校という概念はない」など世界と日本の教育の違  
いなどをお聞きして、我が子自身に問題があるわけではないと感  
じることができました。



# 朝Cafe

## 不登校親子のつながりの場

### 【事業の背景と目的】

不登校やホームスクーラーの親子は、つながりや情報が少なく孤立しがちです。

朝Cafeは、不登校の親が集まり、気軽に悩みや情報交換する場として、

毎月第4木曜日に開催しています。

子ども達は隣の部屋でボランティアスタッフと一緒に遊んだり

ワークショップをして過ごしており、

子ども達のつながりの場でもあります。



### 参加された方たちの声

この会に何う度に我が子が愛おしく感じられ、家でもいつも以上に笑顔でいられます。皆さんとの出会いに感謝です。



親が繋がることで、正解なんか見つからなくても、心もとなくても、ちょっぴり元気がなれたらそれで十分な気がする。

皆子供のために何とかしようってなりがちだけど、陽子さんは「親が楽しむのが大事だ」って言っていて、それがいいんだよねえ

皆さんの多様なお話、ご意見、ご経験談は毎度毎度心に響いて・・・迷いや悩みでいっぱい私の心がスーッと軽くなり、元気になって家に帰ることができます。この繋がりに本当に感謝です。



### 【活動実績と成果】

朝Cafeは2018年6月から毎月開催しており、これまで述べ1000名以上の方にご参加いただいております。新型コロナ禍では”オンライン朝Cafe”も開催。

朝Cafeからのつながりから朝Cafe LINEグループも開設され100名以上の方が参加中。悩みや情報共有の場となっています。

2020年頃からは子ども達も一緒に参加するようになり、地域のボランティアスタッフの協力を得ながら、広いスペースを借りて親スペースの隣で子ども達も活動できる場作りもはじめました。

朝Cafeから“朝Cafe子どもアート”や遠足イベント、演劇、ダンスなど、さまざまな活動に広がっています。

### 朝Cafeの子どもたち

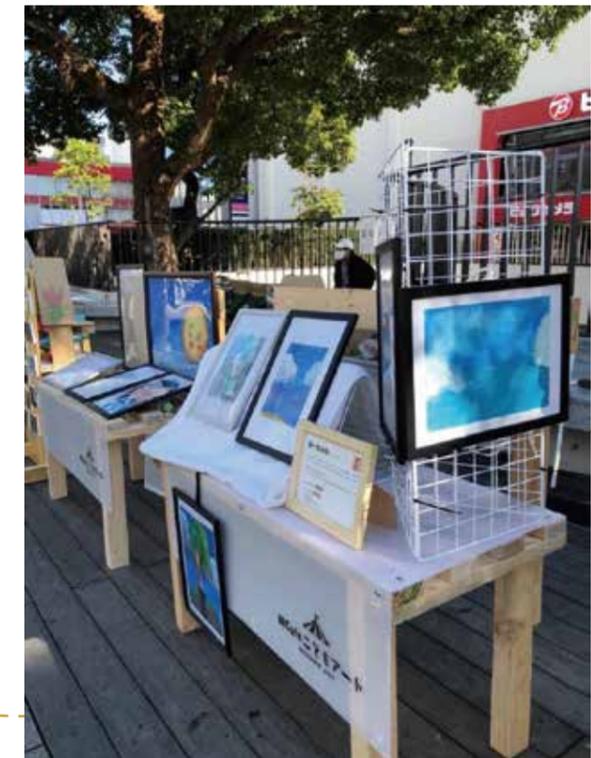




### 子ども達の作品展

#### 【事業の背景と目的】

不登校やホームスクーラーの子ども達の中には、興味のあることに思いっきり取り組んでいたり、さまざまな作品を制作している子どもが多くいます。  
 “朝 Cafe こどもアート”では、子ども達が家庭で制作した作品を展示。  
 作品を通して地域とつながる機会をつくり、子ども達の自信につなげています。



#### 子どもからの感想



すごく楽しかった!

立ち止まってくれる人の分析ができたこと

今まで見てもらえなかった人に見てもらえたこと

自分の作品を展示できるっていうのはいい

友達と話すのが楽しかった

今後は、子どもが当日やって大人には準備を手伝ってもらおうとかな?

みんなが楽しそうにしているのが良かった

もっと改善した作品をつくらうとおもったこと

次回も絶対やりたい

知らない人とのやりとりが楽しかった

楽しかったまたお店やりたい

#### 親御さんからの感想

学校に行かなくなってから、子どもが頑張る姿を褒めたりする事も少なくなっていました。アート展に参加する事ができて、娘の成長を感じる事ができました。

作品はどれもとても素敵で、作品を通してコミュニケーションもでき、本当に良い機会を頂きました。

子どもたちが、それぞれのペースでとても楽しそうに過ごしている様子が見れたのも良かったです。



## ホームスクール畑 畑Cafe

### 畑を居場所に

#### 【事業の背景と目的】

地域の方の協力を得て、2022年12月から畑活動を始めました。

山を見ながら自然の中で土いじりをして癒されながら、自然の中で思いっきり活動し、親子ともに元気になる事を目的に活動しています。

また野菜を収穫することが親子ともに自分の自信にもつながっています。



#### 【活動実績と成果】

優タウン畑チームを中心に、2022年12月から週1回程度活動しています。

畑活動開催日には、不登校やホームスクーラーの親子が自由に参加でき、これまで述べ190の方が参加しています。

畑の横にシートを敷き、お昼ご飯やおやつを食べたり、子ども達は虫取りや水鉄砲で遊んだり、大人も子どもも、心が休まる居場所となっております。

たくさん収穫できた野菜は子ども食堂にも提供。『じゃがいも掘り大会』など季節に応じたイベントも開催しています。

2023年10月からは畑近くの『遠藤市民の家』を借りて、畑Cafeもスタートしています。

#### 団体概要

団体名	特定非営利活動法人優タウン (旧ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト)
所在地	〒251-0055 神奈川県藤沢市南藤沢 7-2 沢滝ビル 2F the KAIDAN fujisawa 内
設立	2017年2月1日 / 法人設立：2023年6月16日
目的	この法人は、多様な学びの場を求めている子どもに対して、自分にあった学びを安心して主体的に選択できるような環境を整え、社会とのつながりを促進する事業を行い、多様な価値観を受け入れ合う社会づくりに寄与することを目的とする。(定款第3条より)
事業内容	(1) 子どもの多様な学びに関する事業 (2) 子どもを支える地域づくりに関する事業 (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 優タウン役員



NPO法人優タウン副理事  
パナソニック コネクト  
株式会社 取締役執行役員  
ヴァイス・プレジデント CMO

山口 有希子



NPO法人優タウン副理事  
三和設備株式会社  
代表取締役社長

森岡 誠治



NPO法人優タウン / 監事  
きざしデザイン合同会社  
代表 / CEO 兼 National  
Search Fund 株式会社 取締役

月原 直哉

#### 優タウン・スタッフ



#### NPO法人優タウン NPO法人設立 Anniversary Report

#### 公式サイト

<https://homeschooling-town.com>



#### Instagram

@HOMESCHOOLINGTOWN



@HOMESCHOOLINGTOWN

#### Twitter

@homeschool\_town



優タウン事務局 ✉ office@yu-town.org

今後の継続的な活動に向けて、ご寄付をお願いしております。ご寄付いただける方はこちらの QR コードからお願いいたします。皆様の温かいご協力を、どうぞよろしくお願いたします。



※本書の一部あるいは全部について、無断で転載・複製することを禁じます。